

新型コロナワクチンを接種する方へ

新型コロナワクチンの接種にあたって、接種を受ける方の健康状態をよく把握する必要があります。この説明文書をお読みにになり、予診票へのご記入をお願いいたします。

新型コロナワクチンの副反応

新型コロナウイルス感染症の発症を予防する一方で、新型コロナワクチンには、下記のような副反応が知られています。

- ・ 注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等が現れることがあります。また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが現れることもあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状があった場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ・ ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ・ ワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

新型コロナワクチンの接種（予防接種）を受けることができない人

下記に該当する方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ・ 明らかに発熱している人※1
- ・ 重い急性疾患にかかっている人
- ・ 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症※2 の既往歴のある人
- ・ 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

※1: 明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

※2: アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

前回までの接種でこれらの症状があった人は、同一成分を含むワクチンでの追加接種はできません。

予防接種を受けるにあたり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ・ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ・ 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・ 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ・ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

予防接種を受けた後の注意点

- 過去にアレルギー反応やアナフィラキシーを起こしたことがある方は、予診票にご記入いただくとともに、原因の医薬品等やその時の状況をできるだけ詳しく医師にお伝えください。重いアレルギーで医療機関にかかっている場合には、接種の可否について医師にご相談ください。
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

問い合わせ

野田村保健福祉課保健班
(野田村保健センター)

TEL : 0194-75-4321